

= 公園の植物 =

ミヤコグサ (マメ科 ミヤコグサ属)

日当たりのよい草地や道端などに普通に見られるマメ科の多年草。中国、台湾、東ヒマラヤなどの東アジアに分布している。茎は細く地を這い、柄の先に1～3個の蝶形花をつける。名前の由来は昔、京都あたりに多かったことによると言われる。花の形がエボシに似ているのでエボシグサとも呼ばれている。

花言葉は「また逢う日まで」「気まぐれな心」の他、なぜか「復讐」「恨みをはらす」もある。

